



元気な身体を取り戻すー ～鬼を滅した「節分の集い」～

節分の翌日、2月3日。なごみ苑でも恒例の「節分の集い」がありました。年男、年女を迎えた方など11名は、お祝い色にある黄色い紋付姿で参加。職員が扮する『鬼の名は』、身体を痛めつける“腰痛鬼”や“寝たきり鬼”、“かゆい鬼”など、利用者の方々にとって大敵揃い。豆の入った小袋は、たちまち鬼に投げつけられました。そして、悩みの元凶を追い返す姿は、喜怒哀楽いろいろな表情に満ち溢れました。

鬼に対抗する『鬼滅の身体(からだ)』を取り戻すと、これからも元気に過ごせますように一と誓っておられる様でした。

悩みの種“鬼”と対峙(たいじ)



鬼に投げる一幕。
「来た来た、鬼、退散～！」

入り乱れる“鬼”を退治！



「福の神」のご挨拶。
豆まきの流れなどを説明、ありがたき講話のように聞き入っておられました。



“鬼”との行く末を見届ける姿もー

各自が運試し「新春お楽しみ会」

今年の「新春お楽しみ会」は、ひと味違う。正月三が日にわたり、利用者の方々に「おみくじ」を引いてもらい、「大吉」には、なんと！（福光名産の）富山干柿が手渡されました。ほか、スナック菓子との引換もあり、各自の胃袋へー。運試し後には、フロア（2カ所）に設置された手作り天満宮の前で、用意された金の小判をお賽銭代わりに、初詣する姿がみられました。

また、寒さに丈夫な方を選抜。1月5日～7日にかけて、車で5分ほどの北野天満宮へ参拝にも出かけました。『みなさん健康に過ごせますようにー』。



100歳 おめでとうございます！ 石若利男さん

滑川市森野新
1月20日生まれ

90歳ごろまで農家として働き、土木関係の仕事にも従事した。同市野町の老人保健施設「なごみ苑」で上田昌孝市長から祝い状を受け取り、「ありがとう」と喜んだ。市内の男性では最高齢。

【掲載：2020年1月21日 木曜日付、北日本新聞】
利用許諾済

密着裏話

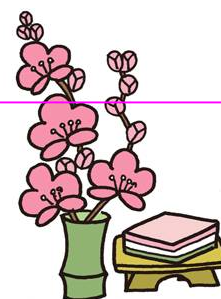
お祝いの席と利用者さんのフロアは映像でつながり「おめでと～」「ありがと～」のやりとりが繰り返されました。



一緒にがんばります！ 新入職員紹介



写真左から。(氏名、所属部署、ちょっとひと言)
橋場 早紀さん リハビリ 利用者様が毎回、楽しんで来て下さるようなリハビリを提供できるようにがんばります。
杉本 勇真さん リハビリ 至らぬ点多々あると思いますが、頑張りますので、よろしくお願いします。
吉田 みちるさん 介護 慣れないこともあるので、ご迷惑をおかけすることも多いと思いますが笑顔で一生懸命がんばります。よろしくお願いします。



今年度の広報「甘露」はいかがでしたか？新型コロナウイルスの発生から1年。利用者さんと、ご家族が顔を合わせる光景は、一変しました。制限は続きますが、離れていても会える「テレビ電話」や「Zoom」など、新たなカタチも生まれました。広報もまた、試行錯誤しながら「元気そうだね」の安心感をお届けできるよう、努めてまいります。これからの「甘露」にも、ご期待ください。